



特集

年末の交通安全県民運動
交通安全功労者等表彰
第59回交通安全子ども自転車愛知県大会
高齢者ドライバーズ・クリニックの実施
交通死亡事故発生状況
地区の活動



【発行所】

一般財団法人 愛知県交通安全協会
愛知県交通安全活動推進センター
〒462-0021 名古屋市北区成願寺1-6-50
電話 052-981-7587(代表)
ホームページアドレス
<https://www.aichi-ankyo.jp/>



普門寺の紅葉(豊橋市)

夕暮れ時、さらなる前方注視で安全運転

年末の交通安全県民運動

12月1日(月)から12月10日(水)までの10日間

〈運動重点〉

- 歩行者の安全な交通行動の実践
- 自転車等の安全利用及びヘルメット着用の徹底
- 運転者の安全運転意識の向上及び飲酒運転等の根絶

**ストップ・ザ
交通事故**

**高めようモラル
守ろうルール**



《いろいろな反射材》



・横断時には手を挙げ、運転者に横断の意思を伝え、安全を確認の上横断を始め、横断歩道手前で止まった運転者に感謝を伝える「ハンド・アップ運動」の実践を促す取り組みを進めよう。



・全ての自転車利用者の乗車用ヘルメット着用と被害軽減効果の理解を促進し、努力義務化を踏まえた着用の徹底の広報啓発を図ろう。
・夕暮れ時の早めのライト点灯の徹底と自転車の視認性を高める反射用品

運動重点

歩行者の安全な交通行動の実践

(1) 歩行者の交通事故防止対策

・反射材用品、LEDライト、明るい目立つ服装などの視認効果の周知と着用を促そう。

・通学路や未就学児が日常的に集団で

移動する経路での見守り活動を推進しよう。

(2) 歩行者の交通ルール遵守の徹底

・横断歩道外横断、走行車両の直前直後横断、路上横断など、歩行者側にも法令違反のある実態の周知を図ろう。

・横断歩道を渡る、信号機の設置箇所では信号機に従うなど交通ルールの基本や、歩きスマホの危険性の周知を図ろう。

秋も深まり、今年も残すところ2カ月弱となりました。年末は、特有の慌ただしさから、運転者や自転車利用者、歩行者の注意力が散漫になりがちです。その上、1年を通じて日没時間が最も早くなり、夕暮れ時から日没後の時間帯と職場や学校からの帰宅時間が重なることから、交通事故の危険性が高まります。さらに、忘年会など、飲酒の機会も増え、飲酒運転による交通事故の増加も懸念されます。

また、歩行者、自転車利用者の交通事故の中には、歩行者、自転車利用者側の法令違反が認められるケースがあり、交通ルール遵守の徹底が課題となっています。そこで、年末の交通安全県民運動では運動重点に沿った取り組みを県民総ぐるみで展開し、県民一人一人の交通安全意識を高め、交通事故の防止を図りましょう。

運動重点

自転車等の安全利用及びヘルメット着用の徹底

(1) 自転車の交通ルール遵守の徹底と新たなルールの周知

令和8年4月1日から交通反則通告制度(青切符)の適用を踏まえ、「自転車安全利用五則」に則った通行方法や、自転車通行空間が整備された箇所での通行方法の周知や遵守の徹底を促す取り組みを推進しよう。

・信号の遵守や交差点での正しい一時停止や安全確認のほか、夜間の無灯火走行、飲酒運転、二人乗り、イヤホン等を使用した運転の禁止など、基本的な交通ルールの理解、遵守の徹底を推進しよう。
令和6年11月1日から施行された自転車の、ながらスマホ、酒気帯び運転の罰則創設の広報啓発を推進しよう。

(2) 自転車利用者の乗車用ヘルメット着用と安全確保対策

・全ての自転車利用者の乗車用ヘルメット着用の必要性和被害軽減効果の理解を促進し、努力義務化を踏まえた着用の徹底の広報啓発を図ろう。

・夕暮れ時の早めのライト点灯の徹底と自転車の視認性を高める反射用品

慌ただしい年の瀬は、さらに注意力を高めて、交通事故防止

年末の交通安全県民運動
2025年12月1日(月)から12月10日(水)までの10日間

MEITETSU

小麦本来の
おいしさ。

Pasco





表彰式

愛知県警察本部と当協会は、長年にわたり交通安全の推進に貢献された県内の団体や個人の皆様をたたえ、その表彰式を10月3日(金)、名古屋市公安局で開催しました。

警察本部長と当協会会長連名の交通安全功労者等表彰及び警察本部長の交通安全奉仕顕賞「功労金章」を

団体や個人に、それぞれ佐藤隆司愛知県警察本部長、川村保憲会長から贈呈しました。

また、全日本交通安全協会会長の交通安全荣誉章「緑十字銅章」が、交通安全功労者、優良安全運転管理者及び優良自動車運転者の皆様に伝達されました。

交通安全功労者等表彰

- 交通安全功労団体
45団体
- 交通安全優良校
44校
- 交通安全功労者
106人
- 優良自動車運転者
279人

交通安全奉仕顕賞「功労金章」

72人

交通安全荣誉章「緑十字銅章」

408人

交通安全推進に貢献した個人、団体を表彰

令和7年交通安全功労者等及び交通安全奉仕顕章表彰

(1) 運転者の安全運転意識の向上

・夕暮れ時から夜間の交通死亡事故の特徴を踏まえた交通安全教育を推進しよう。

・夕暮れ時の早めの点灯を促す「ライト・オン運動」や、夜間の対向車や先行車なしでのハイビームの活用を促そう。

(2) 飲酒運転の根絶

・飲酒運転を許さない社会環境の醸成のため「飲酒運転四(し)ない運動」の徹底のほか、飲食店での運転者への酒類提供禁止の徹底や「ハンドルキーパー運動」の促進などに取り組みよう。

(3) 高齢運転者の交通事故防止対策

・加齢に伴う身体機能の変化が運転に及ぼす影響をシミュレーター活用などの体験型の交通安全教育を推進しよう。

・衝突被害軽減ブレーキ等搭載の安全運転サポートカーの普及啓発を図ろう。

(4) 妨害運転等の防止対策

・悪質、危険な運転を防止するため「思いやり・ゆずり合い」の気持ちでの安全運転意識の向上を広報啓発するとともに、「交通安全スリーS運動」の実践を働き掛けよう。

・横断歩道に歩行者がいない場合を除き、直前で停止可能な速度での運転や「横断歩道等における歩行者等優先義務」の遵守を推進しよう。

(5) 後部座席を含めた全ての座席のシートベルト着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底

・「カチッと100%」を合言葉に、全ての座席におけるシートベルト着用とチャイルドシート使用義務の周知及び、その必要性と効果の理解を促す取り組みを推進しよう。

(6) 二輪車の交通事故防止対策

・二輪車の特性や、あご紐をしつかり締めるなど乗車用ヘルメットの正しい着用、プロテクター着用での被害軽減効果を広報啓発しよう。

・ペダル付き電動バイクはペダルのみでの走行でも、一般原動機付自転車または自動車の交通ルール適用や、ナンバープレート取付け・表示、自動車損害賠償

運動重点 運転者の安全運転意識の向上及び飲酒運転等の根絶

等の取付けを促そう。

・幼児同乗中の転倒防止などの安全利用の啓発や幼児用座席のシートベルトとヘルメットの着用を推進しよう。

(3) 特定小型原動機付自転車利用時の交通ルール遵守とヘルメット着用の徹底

・特定小型原動機付自転車関連事業者等と連携し、交通ルールの遵守や乗車用ヘルメット着用の徹底を推進しよう。

名古屋タクシー協会

会長 天野 清 美 副会長 石 川 優
副会長 浅野 丈 夫 専務理事 野 田 敏 幸
常務理事 伊 村 伸 一

〒466-8558 名古屋市昭和区滝子町30番16号 ☎ 052-871-0601

責任保険等への加入が義務であることの広報啓発を推進しよう。

9月14日(日)

交通博 in 岡崎

岡崎自動車学校



オープニング・セレモニー



吹奏楽演奏(光ヶ丘女子高等学校)



白バイ
ライダーズスクール



ミニSL乗車体験



サポカー体験試乗



レッドサマライジャー模範走行(岡崎市消防本部)



和太鼓チーム「楽風打」の演奏

9月14日(日)

北区交通博

あいち自動車学校



歌う歯医者 原田先生の交通安全トークと歌



VRゴーグル体験



似顔絵コーナー



歩行環境
シミュレーター



キックボード走行体験



子ども免許証プレゼント



反射材展示と創作コーナー

9月23日(祝)

交通博138

一宮自動車学校



高齢者ドライバーズ・クリニック



鼓笛隊演奏(金剛幼稚園)



ちびっ子警察官になって記念撮影



交通標識ビンゴ大会



交通安全教室



トラック死角体験



シートベルト効果体験機



愛知県警察音楽隊コンサート

みんな
楽しく
交通安全

交

通

博

子どもと大人も楽しめる交通博が県内の3地区で開催され、家族連れなど大勢の人が訪れ、ゲームやステージのショーを楽しみながら、交通安全への関心を高めました。

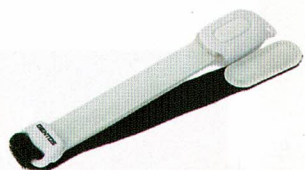


森部社長(左)から
目録を受け取る大江専務理事



伊藤常務より地域交通安全活動
推進委員(左)に渡された
セーフティバンド

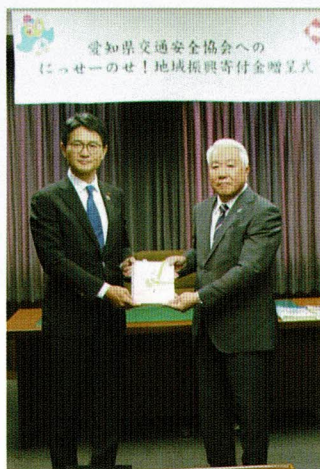
後日、贈られたバンドの一部
は、県内の地域交通安全
活動推進委員851人に
配布されました。暗闇で
光るバンドで二層の交通事
故防止が期待されます。



夕暮れ時や夜間の交通事故
防止に役立ててと、春日井の運
送会社、ランドキャリーから当
協会に、LEDセーフティバンド

(写真)1800個が寄贈され
ました。贈呈式は9月19日
(金)、当協会で行われ、森部鐘
弘社長から大江英生専務理事
に目録が渡されました。

夕暮れ時の事故防止に 光るセーフティバンド寄贈



伊東日本生命保険常務(左)から
寄付金を受け取る大江専務理事

に「地域振興寄付金」を贈って
います。中でも、交通安全啓発
活動を積極的に支援するため、
全国47都道府県の交通安全協
会への寄付を進めています。愛
知県交通安全協会には10月1
日(水)、当協会において、地域
振興寄付金贈呈式が行われ、
日本生命保険、伊東輝雅常務
執行役員東海市場開発本部長
から大江英生専務理事に贈呈
されました。

日本生命保険が 交通安全啓発活動に寄付

地区の 活動特集

参加・体験・実践型の 交通安全イベントを開催

豊橋交通安全協会



子ども安全運転免許証作りでは日本生命保険も協力



桃月さんと自転車ヘルメットの
正しいかぶり方を紹介

来場の高齢者が、シミュレー
ターで運転中に突然出会う
さまざまな場面を体験した
り、ブレーキとアクセルの踏み
間違え時のサポート設置の車
に乗ったり、子どもたちは、白
バイパトカーに触れ大喜び。
豊橋交通安全協会は、色々
な体験を通して交通安全の
意識を高めてもらおうと、交
通安全イベントを開催しまし

た。会場となった豊橋競輪場
には、さまざまな交通体験
コーナーを設け、家族連れな
ど約1500人が訪れまし
た。豊橋出身のタレント、桃
月なしこさんも1日警察署
長として、交通安全を呼び掛
けました。
地域の交通安全活動への
貢献に取り組み日本生命保
険も「子ども安全運転免許
証作り」のブース出展に
協力。制作を優しくサ
ポートし、免許証の出来
上がりを子どもたちと
一緒に喜び合いました。

いつでも どこでも



JAF

一般社団法人 日本自動車連盟 中部本部

〒466-8580 名古屋市昭和区福江3-7-56 ☎ 052 (872) 3867

一般財団法人 日本自動車査定協会 愛知県支所

支所長 八木 慎也



中古車査定の一般財団法人です。車両資産の
評価、事故車両の減価額、係争車両の価格
証明など、お気軽にご相談ください。

〒466-8558 名古屋市昭和区滝子町30-16 TEL (052) 882-5381

西端小が3年ぶり団体優勝

第59回交通安全子ども自転車愛知県大会

当協会は、小学生の安全な自転車利用と交通ルールの理解を深めることを目指した、第59回交通安全子ども自転車愛知県大会を7月29日（火）、名古屋国際展示場（ポルトメッセなごや）で開催しました。

大会には県内の小学校14、交通少年団2、子ども会1の計17チーム、68人が参加し、学科と実技を通して、日ごろから磨いてきた成果を競い合いました。

走行の実技では、走行しながら手合図をしつかり横に伸ばしたり、狭い走路から外れないようにハンドル操作をしたり、一つ二つの競技を懸命にクリアしました。

団体では碧南市立西端小が令和4年以前の優勝、名古屋市立野並小が準優勝、岡崎市立竜美丘小が3位となりました。優勝の西端小は8月6日（水）に東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催された、第57回交通安全子ども自転車全国大会に出場し、健闘しました。



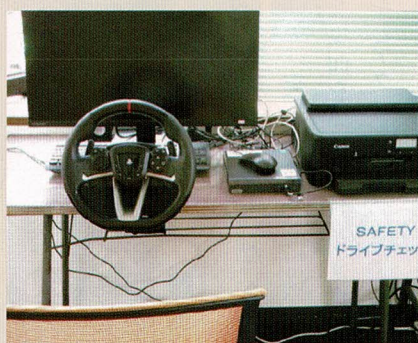
合図をしながら懸命に走る選手



一時停止し、しっかり安全を確認

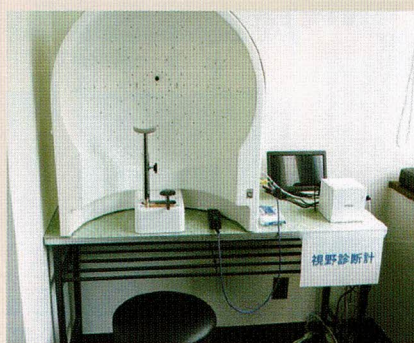


団体優勝の西端小



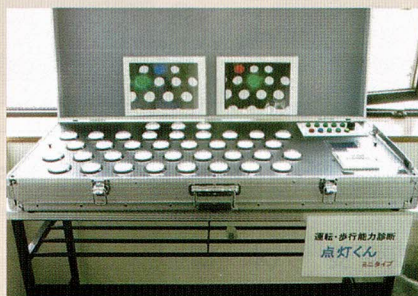
●SAFETYドライブチェッカー

アクセル、ブレーキの踏みかえが正確にできるか、などの検査ができます。



●視野診断計

自分の目がどのくらいの範囲まで見えているか、検査ができます。



●点灯くん(ミニ)

点灯する光を追って、ランプを押すことで、認知能力、判断能力、動作能力、瞬間的記憶力を検査できます。



●動体認知測定装置

突然飛び出してくるものを素早く発見できるか、などの検査ができます。

高齢者の安全運転のため、
身体機能などをチェック
高齢者ドライバーズ・クリニックを実施
当協会では、高齢者向けに、認知機能、身体機能の低下を認識し、安全な運転行動を促そうと、機器を使用した検査を行っています。利用を希望される人は、当協会（交通安全課）、電話052-981-7576まで連絡ください。



県警だより

飲酒運転根絶

コノハけいぶ

飲酒運転は重大な交通事故を引き起こす原因となる極めて悪質な犯罪です。

お酒を飲むと、

- 集中力や注意力、判断力が低下する
- 理性や自制心が失われる
- 視野が狭くなる



などの影響があり、その結果、

- 危険察知が遅れる
- 咄嗟の状況に対応できない
- 人や他車、信号等を見落としてしまう

などの交通事故を起こしやすい状態になってしまいます。

決して、「少しの量だから」「酒に強く酔っていないから」「仮眠したから」等と身勝手な気持ちでハンドルを握ってはいけません。

飲酒運転で交通事故を起こした後に人生を棒に振ったことに気づいて後悔しても、もう手遅れです。

飲酒運転の危険性や悲惨さを十分に理解し、飲酒運転をしない、させない、許さない環境づくりで、飲酒運転根絶を目指しましょう。

飲酒運転根絶呼び掛け動画
須田亜香里さんver.



愛知県警察

大好評! 学生キャンペーン実施中!!

免許取得のお問い合わせ、お申し込みは、

あいち自動車学校 0120-433-554

名古屋市北区成願寺1-6-50

一宮自動車学校 0120-816-138

一宮市島村字下老光寺120番地

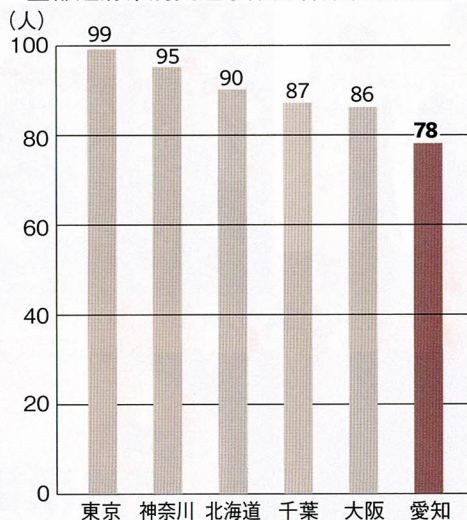
岡崎自動車学校 0120-183-051

岡崎市不吹町14

前年比2割強の減少

愛知県内の交通死亡事故発生状況
(令和7年9月末現在>)

■都道府県別交通事故死者数(9月末現在)

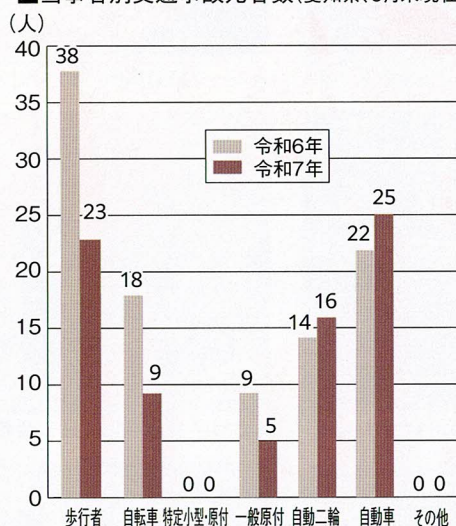


愛知県は78人で、前年比23人(22.8%)の減、全国ワースト6位となっています。年末に向け、さらなる交通事故防止が望まれます。

都道府県別交通事故死者数

全国ワースト6位

■当事者別交通事故死者数(愛知県、9月末現在)

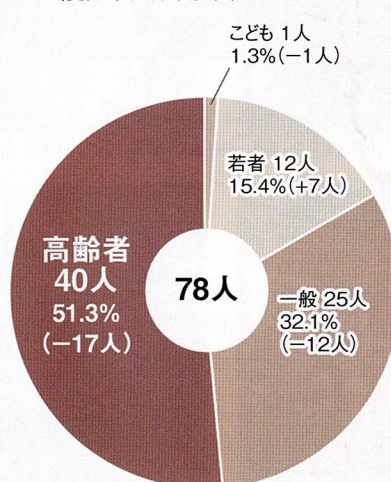


自動車が増え、前年比3人増の25人で、当事者別で最も多くなっています。自動二輪も2人増、歩行者は23人で15人減となっています。

当事者別交通事故死者数

自動車が多発

■年齢層別交通事故死者数(愛知県、9月末現在)



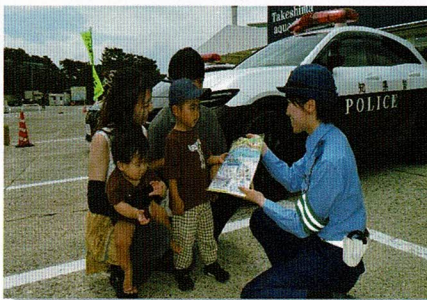
高齢者が40人で、前年比3割減ながら、全体の過半数を占める51.3%となっています。高齢者への一層の交通事故防止対策が求められます。

年齢層別交通事故死者数

高齢者が3割減も、半数占める



▲商業施設で飲酒運転根絶キャンペーン(江南)



▲「びたっと止まって安全運転しんかい」と深海魚シール等を配布し交通安全を呼び掛け(蒲郡)



▲一日警察官の地元企業社員による交通安全キャンペーン(西枇杷島)



▲サイン板を掲げシートベルト・チャイルドシート着用キャンペーン(春日井)



▲自転車シミュレーターを活用した交通安全教室(犬山)



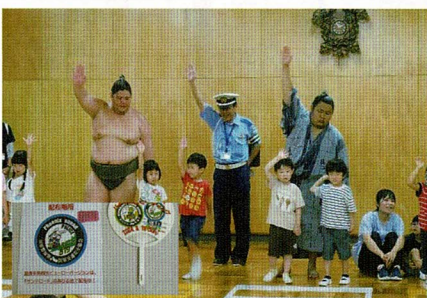
▲ストップ横着横断「竹うちわ」の作製配布(豊橋)



▲車は急に(キュリ)止まらない、しっかりまって(トマ)一時停止(一宮)



▲サイン板を掲げ飲酒運転根絶を呼び掛け(田原)



▲お相撲さんと学ぶ交通安全教室(刈谷)



▲サイン板・横断幕を掲げ安全運転を呼び掛け(蟹江)



▲正しいヘルメットの着用など小学生を対象とした自転車教室(瀬戸)



▲商業施設で反射材効果の視覚体験(岡崎幸田)



▲交通少年団などによる交通安全啓発活動(半田)



▲交通安全出発式で幼稚園児が交通安全を呼び掛け(南)



▲交通安全啓発活動(碧南)



▲ヘルメットに命を救われた体験談に基づく啓発活動(港)

交通安全啓発 地区の活動